

令和3年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人 順正学園

九州保健福祉大学総合医療専門学校

九州保健福祉大学総合医療専門学校 学校関係者評価委員会委員

○ 学外委員(順不同)

- 小牟田 佐知子 様 : 本校学校関係者評価委員会 委員長
宮崎医療生活協同組合 看護介護統括部長
- 重永 康子 様 : 本校非常勤講師
元潤和会記念病院総看護師長兼財団本部介護看護部長
元熊本県立大学総合管理学部 准教授 他
- 岩部 仁 様 : 宮崎善仁会病院 統括看護部長
- 山田 光子 様 : 本校非常勤講師
医学博士(大阪大学)、薬剤師、臨床検査技師
元南九州大学健康栄養学部 教授 他
- 高野 裕美 様 : 保護者代表 学校法人順正学園教育後援会 副会長 (予定)
- 中川 綾香 様 : 訪問看護ステーション湯癒亭 本校卒業生

○ 学校内委員

- 後迫 和子 : 学校長
- 後藤 美樹 : 看護学科長
- 中村 明子 : 看護学科 教務主任
- 小寺 秀樹 : 事務長
- 白神 良憲 : 事務室 課長

1. 学校の教育目標

本校は教育基本法及び学校教育法並びに保健師助産師看護師法の本旨に則り、高度な専門的知識・技能及び幅広い教養を兼備した優秀な看護師を養成し、地域の保健医療の発展、向上に寄与することを目的としています。

2. 令和3年度に定めた重点的に取り組むべき目標と結果報告

【看護学科の目標】

1. 計画的に国家試験対策を実施し看護師国家試験合格100%とする。
2. 本校の魅力や強みをPRし入学定員充足率100%を維持する。
3. カリキュラム変更に伴い体制を整え本校の特色を盛り込む。
4. 学生の就学困難な兆候を見逃さず対応し退学者0を目指す。
5. 新型コロナウイルス感染症に対応した実習、講義を講じる。

(1) 計画的に国家試験対策を実施し看護師国家試験合格 100%とする。

【具体的な手立て】

- 1) 学生が段階的、主体的に単位が習得できるよう各学年運営の指導計画を立案し実践する。
- 2) 教員各自が国家試験の出題傾向を踏まえた講義、実習指導を実践する。
- 3) 国家試験対策や臨地実習において思考し自分で調べ、評価修正していく力を引出し、知識の定着を図る。
- 4) 学生の学力、モチベーションを見極め、時宜を得た対策を講じる。

→学年ごとに指導案を立案し、教員一人一人が国家試験を考慮した講義、実習指導を実践した。新型コロナウイルス感染症対応に伴い、臨地実習の短縮をせざるを得ない状況が続いたが、効果的に学べるよう内容を精選し学内実習を併用した。

3 年生前半の模擬試験では、偏差値 30 台の学生も多かったがボトムアップと全体的な知識の定着に力を入れた結果、最終的には学年全体としては偏差値 5 以上アップした。結果、国家試験は最下位の学生が全国ボーダーより 13 点上となり全員合格（昨年の不合格者 1 名も合格）できた。目標達成とともに開校来の本校の卒業生全員が国家試験合格という実績の継続に繋がった。

(2) 本校の魅力や強みをPRし入学定員充足率100%を維持する。

【具体的な手立て】

- 1) 事務室と連携し、学校紹介に繋がる行事やイベントに積極的に参加し高校生や保護者、実習施設に本校の特色や魅力をPRする。
- 2) 地域の中で求められる人材を送り出すことで本校の社会的評価や信頼度を高め、入学希望者の増加に繋げていく。

→新型コロナウイルス感染症対応に伴いオープンスクールは1回のみであったが、学校見学を希望する生徒及び保護者には時間外や土・日・休日を問わず可能な限り対応した。また、学校の紹介のイベントや高校訪問も行い入学定員の維持に繋がるよう、事務室と連携し積極的にPRを行った。結果、受験者数は定員 60 名に対し 113 名、入学者は 70 名で充足率 116.6%となり目標は達成できた。

実習病院より過去 15 年間の卒業生の定着率や学ぶ姿勢・態度などを総合的に鑑みた結果、本校の実習枠の拡大を今後検討していきたいとの申し出があった。いままでの教育の成果が地域における卒業生および本校の評価に繋がっていると感じる。

(3) カリキュラム変更に伴い体制を整え本校の特色を盛り込む。

【具体的な手立て】

- 1) 教育内容の精選・充実を図り、効果的に学ぶことができ看護の魅力を感じることができるカリキュラムを作成する。
- 2) 事務局と連携し新カリキュラムに対応した学内の学習環境を整える。
- 3) 申請が滞りなく遂行できるように関係機関、実習施設と連携をとる。

→カリキュラム変更に向けて学科で会議を重ねて準備をし、各学年の到達目標、卒業時の到達目標を見直し、他職種連携などを盛り込み各教員が自分の担当領域の教育内容を精選した。県からの指導を受けた数箇所を追加修正し11月末に提出し滞りなく申請が許可された。

(4) 学生の就学困難な兆候を見逃さず対応し退学者0を目指す。

【具体的な手立て】

- 1) 学生の心身の変化を見逃さず対応し、必要時、保護者を交えて面談し対策を講じる。
- 2) 看護に魅力を感じることができるよう、また看護師の資格取得に意欲が高まるように講義や実習を通し関わる。
- 3) 入学後の学習の不安や成績不振を改善するため、入学前教育を継続し入学後の指導に活かす。
- 4) 感染状況を見極め可能であれば安全性を考慮し学年を越え学生同士が交流できる機会を設ける。

→教員間で学生の必要な情報交換をすることにより学生の状況を把握し、生活に不安を抱くことなく学科の魅力を感じられるよう、学年担任が主となりきめ細かく対応した。学年を超えた交流としては感染対策をとりつつ学習会を数回実施した。成績やメンタル面、生活面など、気になる学生には適宜、本人との面談、保護者への連絡および三者面談を実施し早期の問題解決に努めた。退学者数に関しては進路変更などの理由で前年度より増加し11名（退学率6.0%）となり目標は未達成であった。

(5) 新型コロナ感染症に対応した実習、講義を講じる。

【具体的な手立て】

- 1) 臨地実習が可能な際は病院、施設から提示されたそれぞれの条件を周知徹底させ安全に実習を遂行する。
- 2) 学内実習に切り替わった際は臨地に近い形で演習などを取り入れ、実習目標が達成できるように各領域で工夫する。
- 3) 学内の講義は感染状況に応じて事務室と連携し感染予防を徹底した方法で実施する。

→今年度も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対応に伴い、臨地実習が実施できない若しくは短縮をせざるを得ない状況下であったため臨地での実習は全学年で5領域のみであったが学内実習および講義、演習を工夫し学生の知識、技術の習得に努めた。講義は必要時リモートでも実施したが、ほぼ対面式で行われた。学内外において注意喚起を行い、対策を講じ学内での感染拡大はみられなかった。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

- ・令和3年度に定めた重点的に取り組むべき看護学科目標、具体的な手立が明確に設定されており、目標達成に向け努力されている。
- ・3年生前半の模擬試験で偏差値30程度の学生がいたにも関わらず、既卒者を含め看護師国家試験合格100%が達成できたことは教職員の教育指導の成果であり素晴らしいと思う。
- ・入学定員充足率100%はすごい数値であると思う。
- ・退学者を0にするのはなかなか難しいと思うが、学生個々に応じた対応をよくされていると思う。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大が大変な中、学内外において注意喚起を行い学内での感染がみられなかったことは素晴らしいと思う。

質問：入学定員充足率を維持するための対応は？

回答：本校は実習病院をもたないため、地域の病院・施設を含めて実習させてもらえること、病院奨学金を含めて縛りがないため自分で就職したい病院を選択できること、基本的には県内の実習場所から就職先を選択させていること、病院奨学金などについてはその都度相談にのっていることを強調している等、の理由で本校の魅力を感じてもらえた結果だと思う。

質問：退学者について、進路変更が主な理由とのことであるが、他の理由はメンタル面等か？

回答：進路変更が主な理由であり、メンタル面や金銭面や家庭的な理由で退学した学生はいない。

質問：新型コロナウイルス感染拡大防止対策について、行動制限以外の感染対策があれば教えてほしい。

回答：学内外において濃厚接触者にならないように互いが距離を取って接するよう指導している。昼食は決まった教室の決まった席で食べること、休憩時間は教員が巡回しながら指導を徹底した。

3. 評価項目の達成状況及び取り組み目標や計画について

*自己評価点は以下のとおりである。

適切・・・4、 ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、 不適切・・・1

(1)教育理念・目標

	評価項目	自己点検	評価
1	学校の理念・目標・育成人材像は定められているか	4	4
2	学校における職業教育その他の教育指導等の特色は定められているか	4	
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	
4	学校の理念・目標・育成人材像・特色将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	
5	各学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

建学の理念、教育目標や3ポリシー（アドミッションポリシー【求める学生像】、カリキュラムポリシー【教育理念、教育目的、教育目標に対する考え方】及びディプロマポリシー【卒業認定の方針】）を定めており、それらは学生便覧やシラバスとともに九州保健福祉大学総合医療専門学校のホームページへ公開しており、学生及び保護者に学校ホームページを見るように働きかけている。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

- ・建学の理念、教育目標、ディプロマポリシー、シラバス等を学校ホームページに掲載し、学生及び保護者等学内外に広く周知する努力がなされている。

【評価】

- ・「教育理念・目標」は全ての項目が自己評価で達成、「適切である」と評価できる。

(2)学校運営

	評価項目	自己点検	評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか。有効に機能しているか	4	
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	
6	業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	4	
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	
8	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4	

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

毎年度、学校、学科及び事務部門で目標を策定し、年度当初に開催されるキックオフミーティングで前年度の結果についての報告及び当該年度の目標を発表するとともに、事業計画は理事会・評議員会に諮問され決定されている。また、各種規程が整備されており、各規定に基づき学校運営は適切になされている。なお、規程は学内イントラネットシステムを利用して全教職員が閲覧可能となっている。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

・目的等に沿った運営や運営方針に沿った事業計画が策定されており、特に問題ないと思われる。

【評価】

・「学校運営」は全ての項目が自己評価で達成、「適切である」と評価できる。

(3)教育活動

	評価項目	自己点検	評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	4	
5	関連分野の企業・関係施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習)が体系的に位置づけられているか	4	
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	
9	成績評価・単位評価、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保しているか	4	
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	

①課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

学校の教育目標である「教育基本法及び学校教育法並びに保健師助産師看護師法の本旨に則り、高度な専門知識・技能及び幅広い教養を兼備した優秀な看護師の養成」に則り教育課程を編成している。成績評価、単位認定及び進級・卒業判定の基準に沿って評価している。最終的には学科会議及び教職員会議において、進級・卒業判定後、最終決定している。専任及び非常勤講師も各科目の要件を備えた教員を確保し、教育体制を整えている。

個人研究費を有効活用し研修等への参加を奨励しており、専任教員は積極的に学会や研修等に参加できるようにしている。実習指導教員にも学びを奨励し、通信制大学への編入学を希望するなど自己研鑽に励む者もいる。専任教員（教務主任）が、実習指導教員に対して指導力を高めるために技術演習に向けたレクチャーをしたり、教育方法について講義を行うことで教育への理解を深めるきっかけとした。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

- ・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されている。カリキュラムは体系的に編成されており、そのカリキュラムに対して専任教員及び非常勤講師が適切に配置されていると思われる。

【評価】

- ・「教育活動」は全ての項目が自己評価で達成、「適切である」と評価できる。

(4)学修成果

	評価項目	自己点検	評価
1	就職率の向上が図られているか	4	3.8
2	資格取得率の向上が図られているか	4	
3	退学率の軽減が図られているか	3	
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	
5	卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	

①課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

就職希望者の就職率は100%であり、2021年度末までの卒業生（692名）全員が看護師国家試験に合格している。退学者は一昨年の7人から11人に増加したが、進路の変更が主な理由であった。

宮崎県内就職率は年々上昇傾向（60～70%）にあったものの、2021年度は45.1%であった。

在校生は卒業生の社会的な活躍について実習を通じて知る機会を得ることで、将来への展望が描けている。

学生の進学・就職に関する情報を「就職ガイダンス」を通して提供している。

学生一人ひとりにあったキャリア形成支援はチューターが卒業まで責任をもって指導している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

- ・退学率の軽減が図れなかったということは致し方ないと思う。18歳で将来の進路を見極めてしまうということは難しく、退学者が一定数出るのはやむを得ないと思う。
- ・就職希望者の就職率100%は素晴らしい。

質問：宮崎県内の就職率が年々上昇傾向にあったものが、令和3年度は45.1%に減少した理由を教えてください。たまたまそうなったのか、学生たちの率直な意見などがあれば教えてください。

回答：アンケートをとっていないので具体的な理由は不明であるが、コロナ禍で実習に行くことができなかったこと、簡単にリモートによる就職面接試験を受け就職先を決めてしまった学生が多々いたことが原因と思われる。県内へ残す働きかけは行っているが強制はしていない。

【評価】

- ・「学修成果」は、「ほぼ適切である」と評価できる。

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検	評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3.9
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	
7	保護者と適切に連携しているか	4	
8	卒業生への支援体制はあるか	4	
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	

①課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

就職支援体制や相談に関する支援体制は十分に機能している。必要に応じて保護者面談を実施しており、連携できている。経済的支援については、学園独自の奨学金制度が廃止されており、分納や延納制度しかない状況である。学生の健康管理については、年々体調不良を訴え保健室を利用する学生が増えている。特に心理・精神面などの不安症状を訴える学生については、非常勤講師のカウンセラーで対応している。高校と連携して模擬講義を実施し、キャリア教育・職業教育の取組を行っている。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

・学園独自の奨学金がなくなっても日本学生支援機構や病院奨学金制度があることをアナウンスされているので問題はないと思う。

質問：新型コロナの影響を受け学習困難な学生がいたか？その他の経済支援はなされているか？

回答：新型コロナによる学習困難な学生はおらず、新型コロナに関しての経済的支援は特にはない。

【評価】

・「学生支援」は「ほぼ適切である」と評価できる。

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検	評価
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3.6
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	
3	防災に対する体制は整備されているか	3	

①課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

施設設備は十分に整備しているが、老朽化に伴い、年次計画に沿って優先順位の高いものから改善に取り組んでいる。

実習施設と良好な関係を築けている。実習施設の方々のご協力により、実習指導者講習会（2ヶ月）を受講していただき、臨地実習指導者として本校の教育に携わっていただいております。実習施設皆様の協力に感謝している。防災についてはコロナ禍ということもあり、防災訓練等が実施できていない。12月までには避難訓練などを予定している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

・防災訓練実施だけではないと思う。例えば新型コロナが拡大している中で、防災マニュアルを見直してみるのもよいのではないかと思う。

・机上での訓練を検討してみてもどうか。

【評価】

・「教育環境」は「ほぼ適切である」と評価できる。

(7)学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検	評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	4	4
2	学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4	
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

学生募集活動に積極的に取り組んだ結果、入学者数が65人であった。今年度も入試や広報に関する活動を積極的に行い入学定員を確保していく。

学納金については、近隣の医療看護系専門学校と比較しても妥当な額となっている。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

・入学定員確保のための取組が積極的に行われているところが評価できる。

【評価】

・「学生の受入れ募集」は全ての項目が自己評価で達成、「適切である」と評価できる。

(8)財務

	評価項目	自己点検	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	
4	財務情報公開の体制整備は適正に行われているか	4	

① 課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

財務における諸手続きは適正になされており、予算・収支計画については事業計画に対して適切に執行している。財務情報は本校のホームページに公開している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

・財務情報は学校ホームページに掲載され、適切に執行されていると評価できる。

【評価】

・「財務」は全ての項目が自己評価で達成、「適切である」と評価できる。

(9)法令等の遵守

	評価項目	自己点検	評価
1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
2	個人情報に関しその保護のための対策がとられているか	4	
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	
4	自己評価を公開しているか	4	

①課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

各法令や設置基準を遵守し適正な運営をおこなっている。取り扱う個人情報の種類や目的を明示している。評価委員会において指摘のあった事項については改善し、評価結果はホームページに公開している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

- ・各法令や設置基準を遵守し、適正な運営がされていると思う。
- ・評価委員会の指摘事項については改善、評価結果がホームページに公開されている。

【評価】

- ・「法令等の遵守」は全ての項目が自己評価で達成、「適切である」と評価できる。

(10)社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	自己点検	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3.3
2	学生のボランティア活動を奨励しているか	3	
3	地域に関する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	

①課題 ②今後の改善方法 ③特記事項、その他

高校や専修学校各種学校連合会等からの講義等の依頼に積極的に対応している。

学生のボランティア活動も奨励しているが、授業や実習で積極的には参加できていない。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

- ・新型コロナウイルスの感染が拡大している状況下ではボランティア活動や社会貢献は難しいと思う。
- ・ボランティア活動の奨励が必要なのか？学生の本分は学習であるため、できる範囲で良いのではないかと思う。

質問：ボランティア活動を奨励しているのか？参加を勧めることができないという状況か？

回答：電話やパンフレット・チラシなどが送られてきたものは情報提供のために掲載している。コロナ禍で行動制限をかけているので実際は行えていない。

【評価】

- ・「社会貢献・地域貢献」は「ほぼ適切である」と評価できる。